

## 高温に伴う農作物等の技術対策について

平成30年4月19日

広島県農林水産局農業技術課

- 4月16日、広島地方気象台から、「高温に関する異常天候早期警戒情報」が発表されました。農作業時は熱中症対策など健康管理に十分注意するとともに、農作物の管理等対策を徹底しましょう。

高温に関する異常天候早期警戒情報（中国地方）

平成30年4月16日14時30分

広島地方気象台 発表

要早期警戒（気温）

警戒期間 4月21日頃からの約1週間

対象地域 中国地方

警戒事項 かなりの高温（7日平均地域平年差+2.0℃以上）

確率 30%以上

今回の検討対象期間（4月21日から4月30日まで）において、中国地方では、4月21日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれます。

農作物の管理等に注意してください。また、今後の気象情報に注意してください。

### 【全般】

- 世羅町内ナシ園では平年より10日早く満開期を迎えました。今後、高温が続くことにより、農作物の生育ステージの大幅な前進が予想されます。農作業計画の適切な見直しや農業資材等の確保に努めましょう。
- ハダニ、アブラムシ類など高温乾燥により、発生が多くなる病害虫についてはその動向に十分注意し、適期防除に努めましょう。

### 【水稻】

- 種子伝染性病害の発生を防止するため、種籾の塩水選・消毒等を徹底しましょう。また、育苗期における高温・高日照条件では、もみ枯細菌病等の病害、苗の徒長やヤケ苗が発生しやすくなるため、高温・過湿にならないようハウスの換気を行いましょう。

### 【施設栽培】

- 異常高温時は、障害回避のため側面と妻面をできる限り解放して風通しを良くしましょう。特に、夜温確保のためサイド等閉め切っているハウスでは、曇天時から急に天候が

回復した場合、ハウス内温度が急上昇します。換気遅れがないよう十分注意しましょう。

○ポットやセルトレイで育苗中の苗や鉢物では、用土が限られ乾きやすいので、こまめなかん水や遮光により、萎れさせないように管理することが重要です。観察を怠らずきめ細かな管理をしましょう。

### 【露地栽培】

○露地栽培では、土の乾き具合を確認しながら必要に応じてかん水を実施しましょう。特に、定植後間もない場合は適湿を保つようにします。

### 【畜産】

○高温環境下では、家畜は体温上昇を防ぐために呼吸数や血流を増加させ、エネルギーを余分に消費する一方で飼料摂取量が減少するために生産性が低下します。家畜の体温上昇抑制のため暑熱対策を徹底しましょう。また、家畜の姿勢、採食量や反芻行動など家畜の行動をよく観察し、異常家畜の早期発見・早期治療に努めましょう。

### 【農作業時の留意点】

○この季節は、昼夜の寒暖差が激しく、身体がまだ暑さに慣れていない時期です。特に、高温条件下における農作業では、作業者の体調管理は十分注意しましょう。また、気温が高くなると、熱中症をおこしやすくなるので注意が必要です。このため、作業者の健康管理に配慮し、作業環境の改善に努めましょう。また、農作業事故に十分注意しましょう。

### 問合わせ先

西部農業技術指導所	東広島市八本松町原 6869	電話 082-420-9668
東部農業技術指導所	福山市三吉町 1 丁目 1-1	電話 084-921-1311
北部農業技術指導所	三次市十日市東 4 丁目 6-1	電話 0824-63-5181
県庁農業技術課	広島市中区基町 10-52	電話 082-513-3592